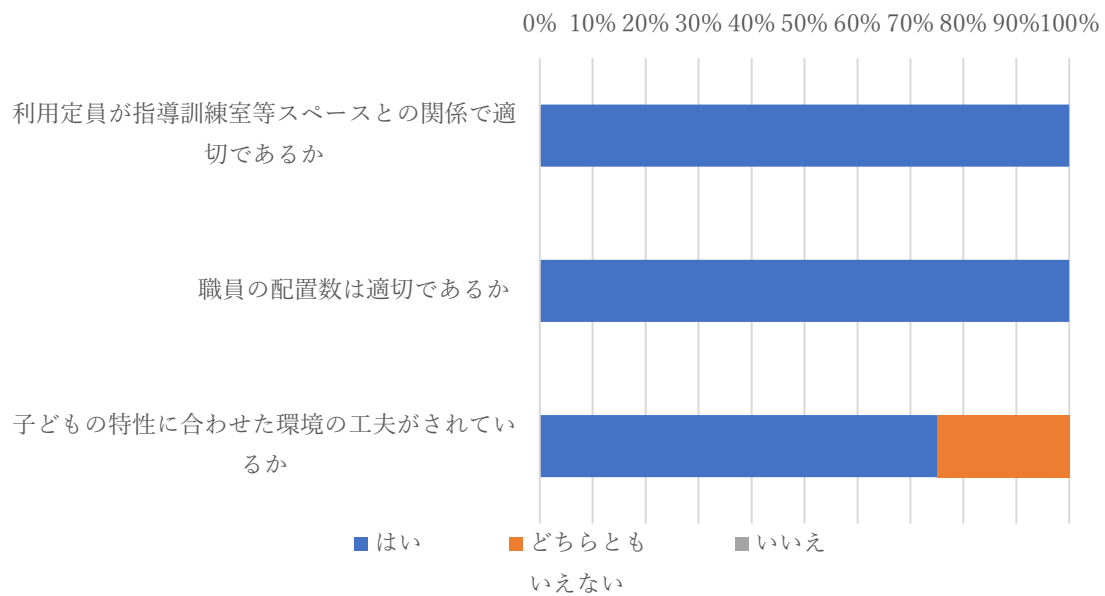


## 令和2年度石川療育センター放課後等デイサービス事業所評価 自己評価の結果

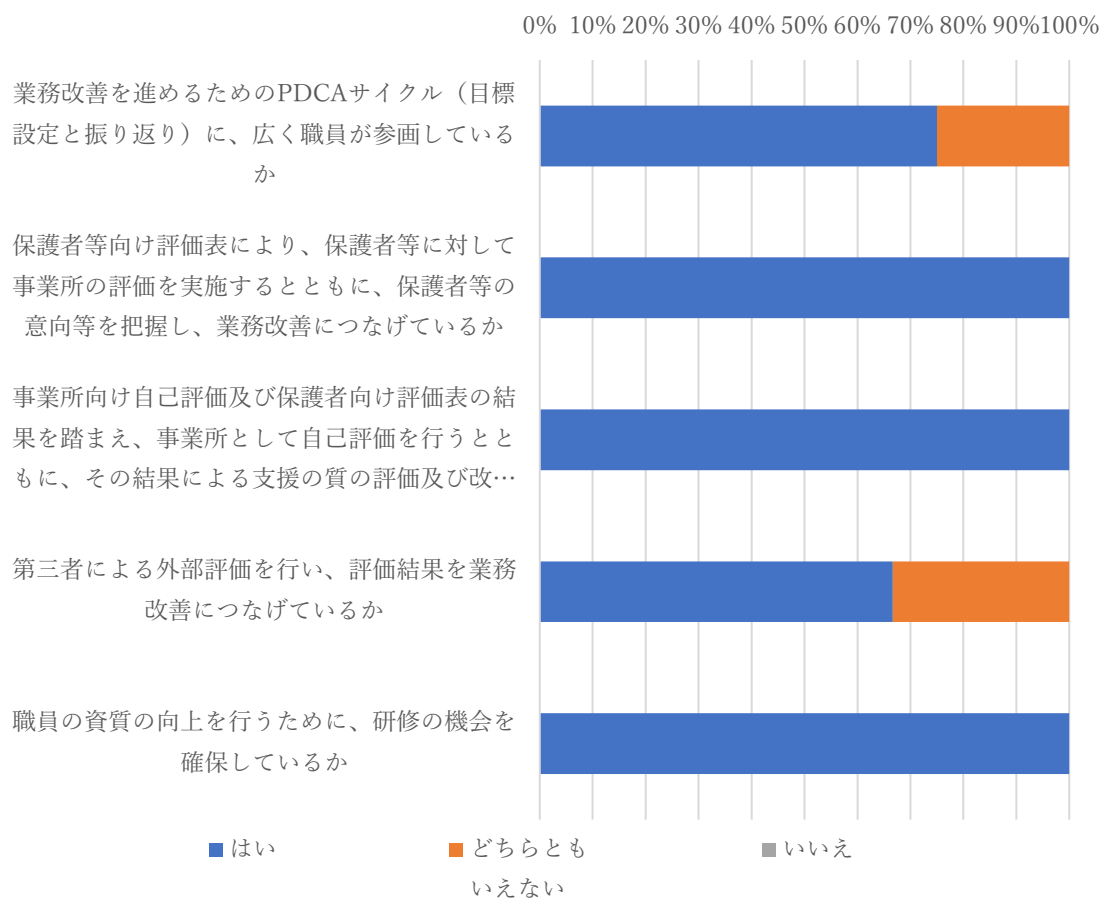
### 重症心身障児の方へのサービス内容に関して

#### 【環境・体制整備】



基本的には受け入れ人数に対してのスペース等は適切であると思われていますが、人数を多く受け入れる場合には近くの別室やベッドを利用する等しています。多機能型なので利用者の受け入れの年齢は様々ですが、装飾などは利用者の作品を飾るなど、一人一人の特性に合わせた環境の工夫を大事にしたいと考えています。

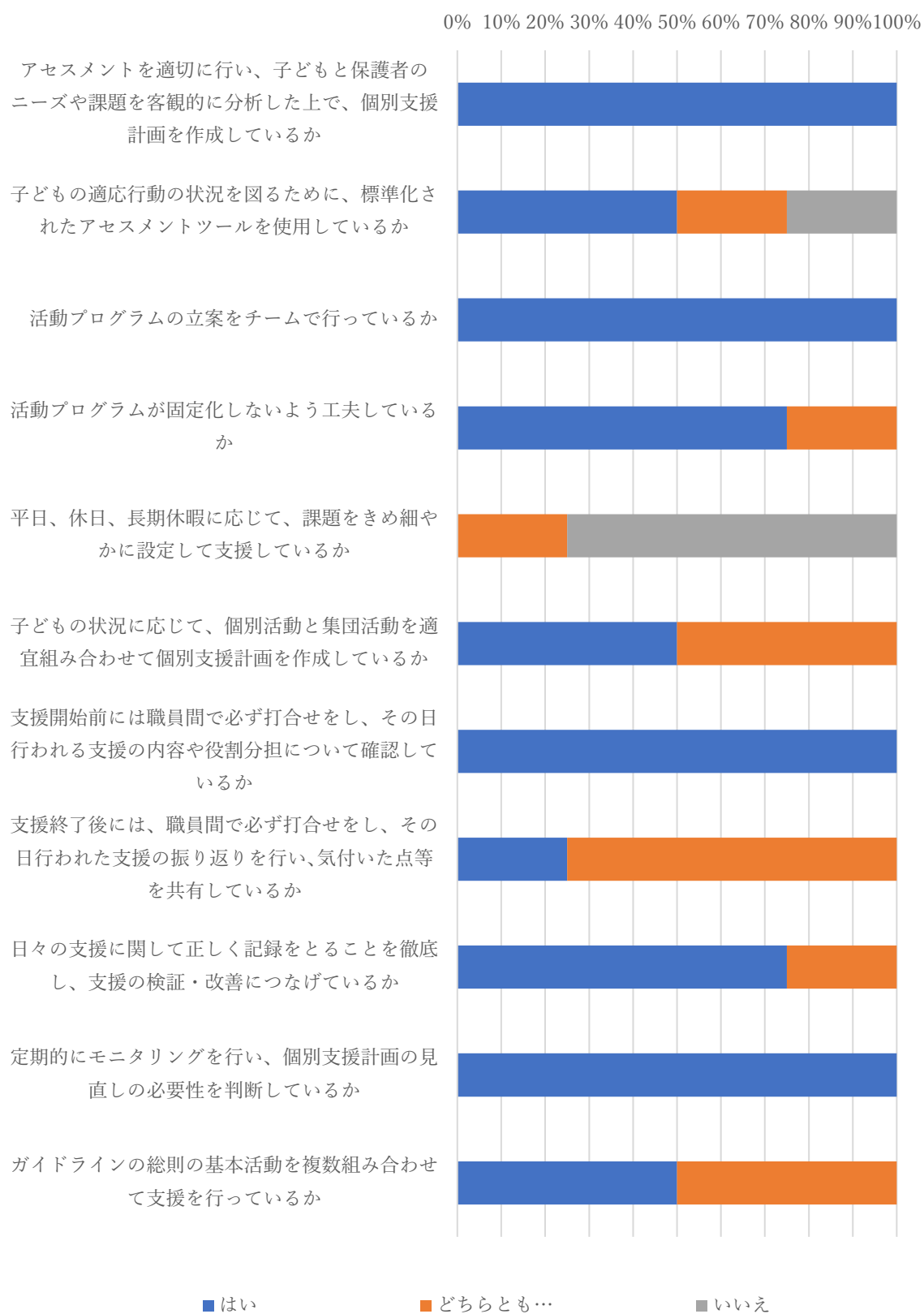
## 【業務改善】



不都合等については、皆で話し合い共有できています。また院内外の研修にはサービスに支障が出ないように配慮しつつ参加しています。

医療的ケア児を受け入れているため、更なるスキルアップを目指して、基礎的な医療を含む研修等に参加しており、これについては今後も取り組んでいきたいと考えています。

## 【適切な支援の提供】

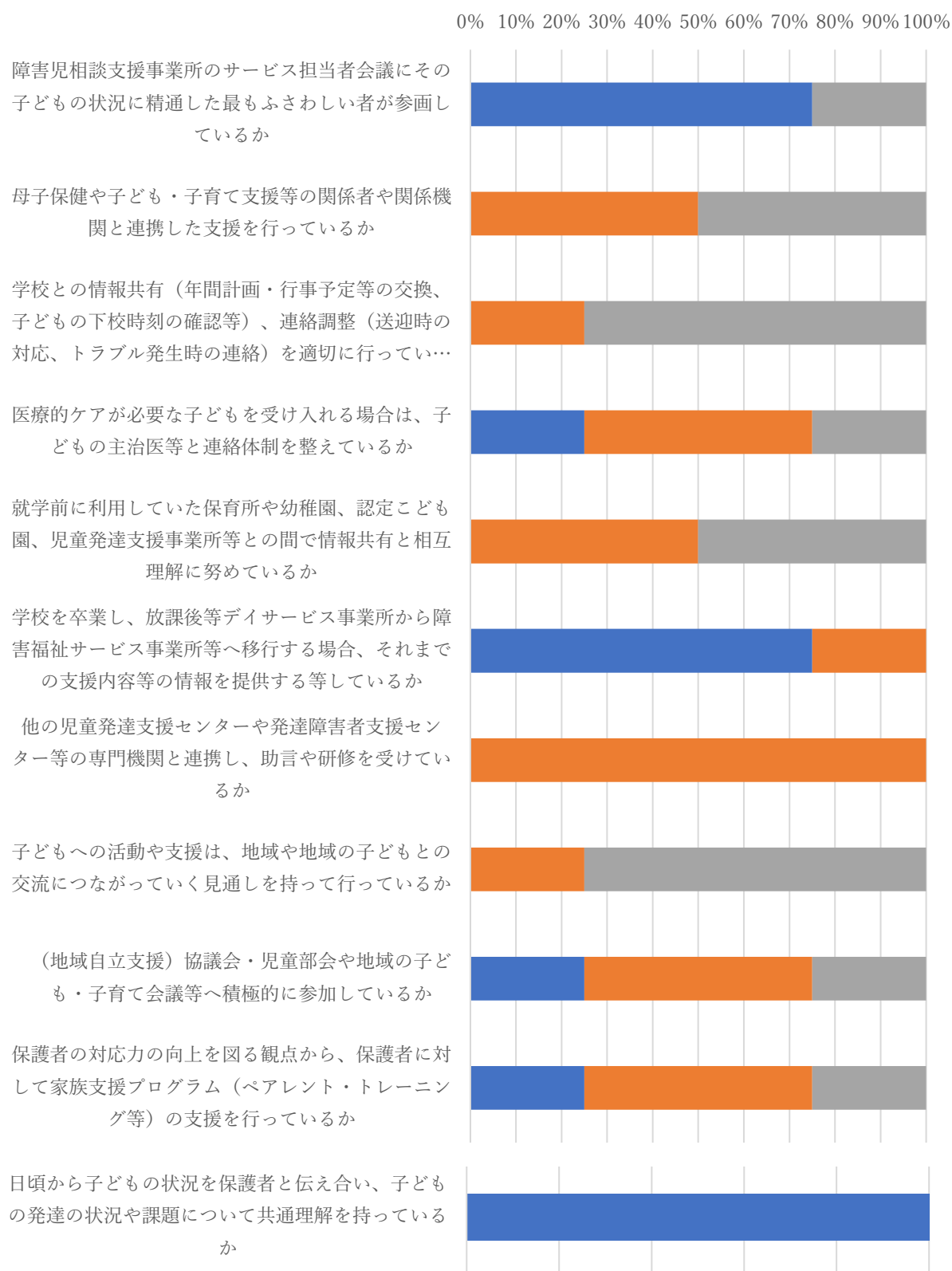


生活介護では細かくアセスメントを実施し、ニーズ整理をし、個別支援計画の作成をおこなっており、放課後等デイサービス等でも同様に実施したいと思います。必要な情報につきましては、個人が意識して全員が共有できる様、工夫しています。また児童期の場合には年齢に応じた必要な支援があると考えられ、場合によっては学校との情報交換や当機関の外来の専門家等との連携が必要と考えています。

活動プログラムは、個別のニーズに対しての支援が出来るように心がけてはいますが、さらに個別なニーズをより深く把握して、個々に即した支援が提供出来るように創意工夫をしたいと思います。今後も、本人のニーズに合わせた新たなプログラムを取り入れていきたいと考えています。平日、休日、長期休暇につきましては、家での生活を中心として頂き、家族からの希望があれば課題の設定等を検討したいと考えております。

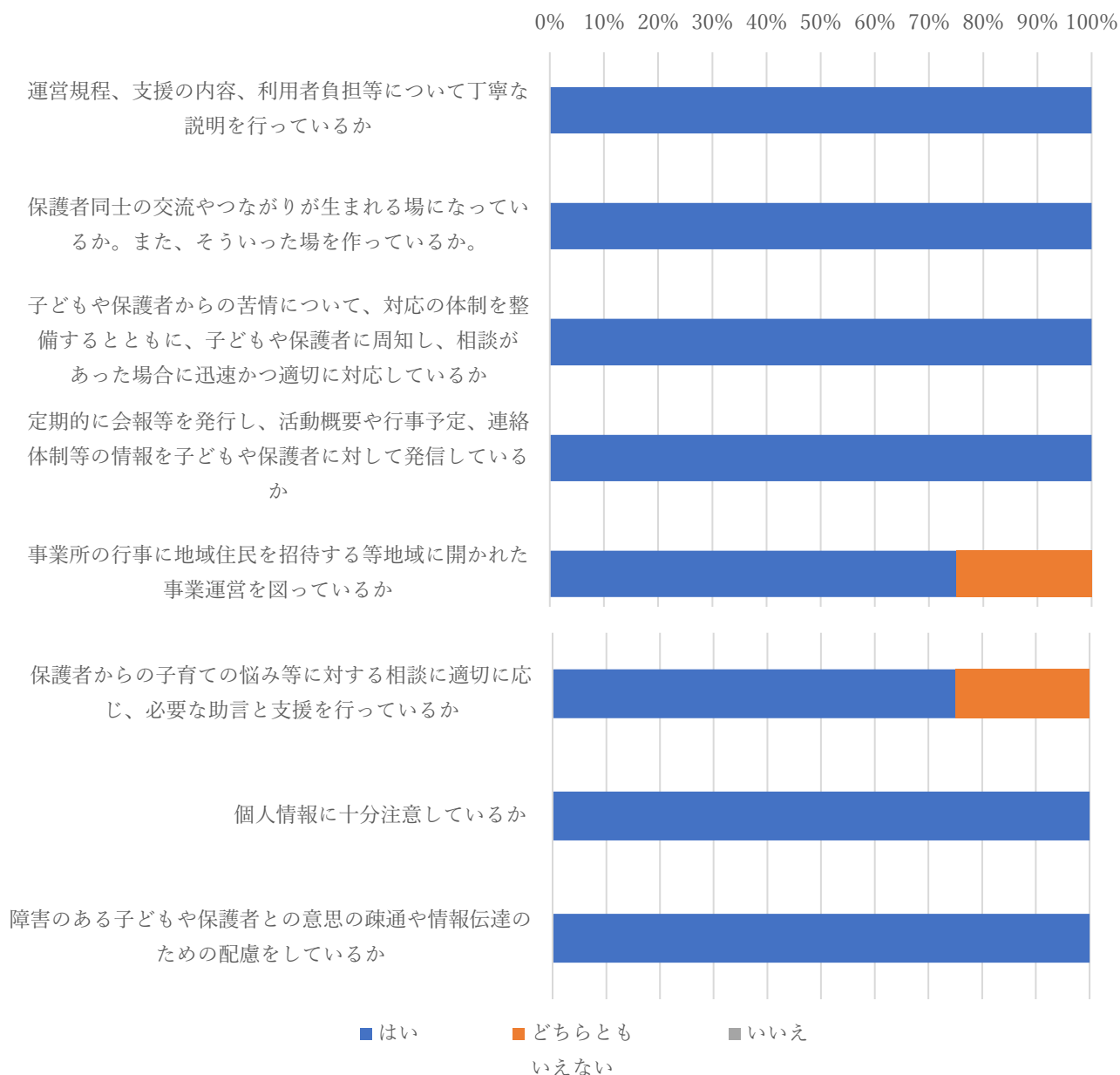
職員間では固定した時間を決めてはいませんが、支援に対して気になることは、必要に応じて、その時か、終了後に話し合いを行い、解決するように心がけています。

## 【関係機関や保護者との連携】



保護者さまとは連絡ノートや送迎時を利用し、日常的に連絡や報告等を毎日行い、変化や要望等はスタッフとその都度共有しています。学齢児の方の利用があれば、学校等必要な機関との情報の共有は行って行きたいと思います。また医療的ケアが必要な方の場合、その主治医との連絡に関しては保護者さまを通して情報を共有しています。必要時には当機関の医師と主治医とが連絡を取って情報交換を行っています。サービス担当者会議につきましては、幅広く参加をするため、時間や場所に考慮して頂きながら、出来る限り参加をしています。

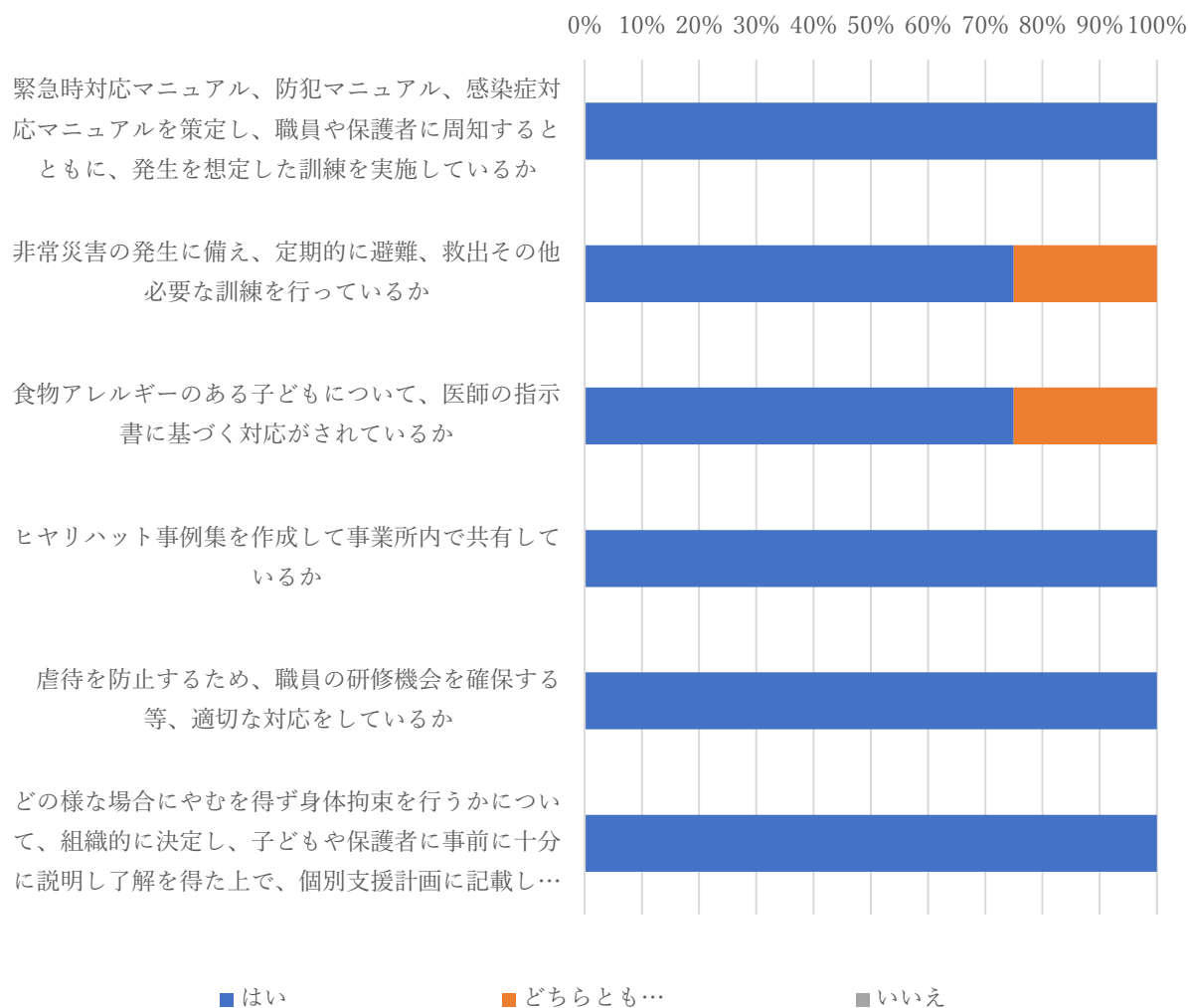
## 【保護者への説明責任等】



日々の様子については毎日連絡ノートに記載し、送迎時に話をして保護者さまにお伝えしています。また年 2 回お便りを発行して、活動の様子等を伝えています。これについては今後も取り組んでいきたいと考えています。

保護者さま同士の交流の場となる機会を増やしていきたいと考えており、今年度は、親睦会の開催と、活動公開日を設け実施しました。

## 【非常時の対応】



緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、各場所（部屋、送迎バス等）に備えてあります。また避難訓練にも参加していますが、保護者さまへの案内、情報提供は充分とはいえないので、非常時の対応方法を保護者さまと共有できるよう、次年度は災害時における避難の手順を作成し、お知らせやお便り等を利用して保護者に伝えていき、共有していくようにしたいと考えています。

ヒヤリハットに関しては、事業所での実施は出来ておりますが、職員の意識に欠ける部分もあり、ヒヤリ、ハットした時にすぐに記載できる方法を考えていきたいと思っております。